

予防で守る！健康と生活

気づかぬうちに、深刻な病気に・・・



病気と健康



最近、ニュースなどで、『がん』になった有名人が取り上げられるケースを目にします。

がんは日本人の死亡要因の第1位で、がんにかかる辛い投薬治療と長い闘病期間から、その後の人生にも大きく影響を与えています。

また、生活習慣病である糖尿病や、脳いっ血や脳卒中といった病気は、一度患うと重い後遺症を残すこともあります。

医療費が家計を圧迫

国民一人当たりの医療費は年々高騰しています。

その理由としては、がんや生活習慣病（高血圧・糖尿病・高脂血症等）が一つの要因となっています。

また、本町の医療費の内訳を見ると、『高血圧』『糖尿病』などが上位を占めています。

▼日本の医療費推移

	国民一人あたりの医療費	前年増加率
平成16年	25万1500円	1.8
平成17年	25万9300円	3.1
平成18年	25万9300円	0.0
平成19年	26万7200円	3.0
平成20年	27万2600円	2.0
平成21年	28万2400円	3.6
平成22年	29万2200円	3.5
平成23年	30万1900円	3.3
平成24年	30万7500円	1.9
平成25年	31万4700円	2.3

※厚生労働省国民医療費の統計より抜粋

予防と検診

病気の予防には、『病気にならない』ための1次予防と、『病気を早く発見する』2次予防などがあります。

町では、高齢者を対象とした運動教室や、生活習慣病対策の減塩料理などを広げるとともに、予防接種にも助成し、『病気にならないためのまちづくり』に力を入れています。

また、『ならないのが一番』ですが、『検診で早期発見・早期治療』することで、心も体も健やかに生活をする事ができます。

町では、検診費用に対しても助成していますので、これまで以上に、予防に目を向けてみませんか？

